

11 月 27 日：株価は上昇も売り圧力は依然として強い

VN 指数は水曜日に上昇したが、大型株を中心に売り圧力が高まったことで徐々に上げ幅を縮小した。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.14% 上昇し 978.17 ポイントで取引を終えた。

出来高は 1 億 9800 万株で売買代金にして 3.6 兆ドンほどであった。

VN 指数は 0.05% 上昇し 976.79 ポイントで木曜日の取引を終えた。

139 銘柄の上昇に対し、172 銘柄が下落した。

VN30 指数は 0.27% 下落し、895.06 ポイントで取引を終えた。

VN 指数は前日と同様に午前中は上昇したが、引けにかけて上げ幅を縮小する展開となった。ベトコムバンク (VCB)、ベトナム投資開発銀行 (BID)、ビンググループ (VIC) などは市場の上昇トレンドを支える 3 つの銘柄となった。

多くの大型株は下落して取引を終えることとなった。ビナミルク (VNM) (-0.7%)、ビンホームズ (VHM) (-0.3%)、ペトロリメックス (PLX) (-1%)、マッサングループ (MSN) (-0.7%) などは下落したが、大きく下落した銘柄はなかった。

SSI 証券によると、2018 年 12 月から 2019 年 10 月までの 11 か月で、2770 億ドルの資金が投資ファンドから流出した。一方、債券ファンドは 3720 億ドルの資金流入となった。

世界経済成長への懸念という面では、米中貿易摩擦の激化が投資家心理を悪化させ、資金を安全資金へと向かわせており、それらの資産を高騰させていると思われる。

しかしながら、水曜日には外国人投資家は 728.4 億ドンの買い越し、ホアファット (HPG)、BID、ビンコムリテール (VRE) などに資金が集まった。ハノイ取引所では 27 億ドンの売り越しであった。

セクターごとでは、25 セクターの内の 13 セクターで上昇を記録した。卸売り、ヘルスケア、不動産、銀行、農業、プラスチック、化学、水産加工などが上昇した。

一方、12 セクターは下落した、石油ガス、ゴム、飲食料品、建設資材、建設、運輸などがそれであった。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.73% 下落し 103.23 ポイントで取引を終えた。

出来高は 1980 万株で 2426 億ドンほどであった。

同指数は火曜日には 0.51% 上昇し 103.99 ポイントで取引を終えた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。